

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 東京発ショートフィルムの祭典
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2024

短編小説公募プロジェクト

第10回を迎えたブックショートアワード 大賞は 「桃太郎」の二次創作が受賞！

過去ブックショートアワード受賞の原作から生まれたショートフィルム
5作品をSSFF & ASIA 2024オンライン会場で6/1より公開！

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA) では、2014年に「二次創作」をテーマに短編小説を公募するブックショートアワードのプロジェクトを始動。これまで、さまざまな企業、自治体とコラボレーションした公募企画や、短編小説を原作にしたショートフィルムの製作、さらに出版も手がけるなど、短編小説を軸に様々な取り組みを行ってまいりました。

第10回目となる短編小説公募プロジェクト「ブックショートアワード」には、750を超える応募があり、その中から選出された大賞作品を本日発表いたしました。

大賞に選ばれたのは、昔話「桃太郎」をモチーフにした『鬼の勇気』（比良慎一著）。

全文をブックショートサイトにて掲載しています。

また、ブックショート10周年を記念して、SSFF & ASIA2024のオンライン会場で6月1日から、過去ブックショートアワード受賞作原作の5作品のショートフィルムを特別配信いたします。

<配信作品 (6/1~6/30)> ※ () 内はショートフィルムの原作となった短編小説のモチーフである昔話や民話

『HANA』（「鼻」芥川龍之介）

『ユキの異常な体質/または僕はどれほどお金がほしいか』（「雪女」）

『王様の選択』（「裸の王様」）

『名前って、ふたつ以上の鐘の音』（「ラムネ氏のこと」坂口安吾 「赤と黒」スタンダール）

『シャフリヤールの昼と夜』（「アラビアン・ナイト」）

SSFF & ASIAオンライン会場：<https://www.shortshorts.org/2024/online/>

<第10回ブックショートアワード大賞受賞作>

『鬼の勇気』比良慎一（「桃太郎」）

サイトURL：<https://bookshorts.jp/20231002o>

<選評>

おかげさまでブックショートはプロジェクト立ち上げから今年で10周年を迎えました。

今回、大賞に選ばれたのは、まさに誰もが知る昔話『桃太郎』をモチーフにした『鬼の勇気』（比良慎一著）でした。

猛暑の中、テーマパークの野外ステージで上演されている「桃太郎」。

主人公の矢吹が演じるのは、主役ではなく鬼の親玉です。舞台上で正義の味方と対峙した矢吹の頭の中には、四年前から持ち続けている一つの疑問が浮かびます。

<鬼が悪さをした証拠はあるのか>

鬼は実は悪者ではなかった……というアイデア自体は『桃太郎』の二次創作では珍しいものではありません。しかし、矢吹がこんな疑いを抱いたのは個人的な理由があったからでした。彼は、天才子役として日本中を席卷したという輝かしい過去を持っています。けれども、年齢を重ねるごとに役者としての存在感を失っていき、四年前のある出来事がきっかけで世間から大きなバッシングを受けることになってしまったのです。

<自分が正義だと信じて疑わない人間が、不祥事を起こした人間に群がり、一斉に刃を向けてくる。連中には、事実かどうかの境界線など必要ないらかった>

自身には非がないにもかかわらず、妻と子供と離れ離れになり仕事も失ってしまった矢吹はその後、野外ステージのショーで鬼役を演じることでなんとか糊口をしのいでいます。スポットライトが当たる役には当面ありつけそうにありません。その日2回目の『桃太郎』の公演には娘の優奈が観劇にやってくる約束です。本番前、半年ぶりに会って父娘二人での食事。どこか悩んでいるようにも見える九歳の娘は、矢吹を気にかけてながらこう問いかけます。

<新しいお父さんにもお父さんって言えたら、お母さんも赤ちゃんも幸せになれるかな>

自分の幸せよりも他人の幸せを優先する娘を目の当たりにした父は、彼女のために何が出来るかを必死に考えます。そして、ステージに立った鬼の親玉は思い切った行動に出るのです。そのとき矢吹が発した言葉はきっと、客席から父を見守る娘の心を優しく包み込んだことでしょう。とともに、その勇気は、私たちの世界で繰り返される「正義」と「正義」のぶつかり合いーその果てしない歴史の終わりを照らす一筋の光となるかもしれません。

<受賞者プロフィール>

比良慎一

美容専門学校を卒業後、ふらふらと鳥のように自由に生き、現在は会社員として仕事に心血を注いでいる。今後は執筆9割、会社1割にして過ごしていきたいと思う今日この頃……



▲受賞者：比良慎一氏

<コメント>

この度、第10回ブックショートアワードの大賞に選んでいただきました比良慎一です。選考に関わってくださった方々に心から感謝申し上げます。
「鬼の勇気」という本作品ですが、テーマは『平和』です。ちょうど執筆を始めようとしたときにアフリカで戦争が始まりました。連日のニュースで心を痛め、平和を祈った作品を書きたいと考えました。正義と悪の境界線は非常に曖昧で、捉え方によっては双方が悪にも、正義にもなり得てしまいます。正義とはいったいなにか、悪とはいったいなにかを考え、悩みながら書いた作品がこのような評価をいただけてとても嬉しいです。
この荣誉ある賞をいただけたことを励みに、今後も精進していきたいと思えます。

10th ANNIVERSARY BOOK SHORTS HISTORY



第1回
ブックショート大賞が『HANA』(『鼻』
芥川龍之介) / 結城紫雄
に決定
SSFF & ASIA 2015
オープニングセレモニー
にて表彰

ブックショートプロ
ジェクト誕生 & 第1回
ブックショート大賞
募集開始

2014年8月



at home | BOOK SHORTS

at home AWARD 開催
2016年4月

第3回
ブックショート大賞
募集開始

2016年8月



第3回ブックショート大賞が『王様の
選択』室市雅則(『裸の王様』)に決定
SSFF & ASIA 2017にて表彰



第2回ブックショート大賞原作
ショートフィルム『ユキの異常な体質 / または
僕はどれほどお金がほしいか』を SSFF & ASIA
2017で上映

Earth Act For Life AWARD 開催

2017年6月



LOVE KAMATA AWARD
大賞原作「観覧車
の下で会いましょう〜人
生は観覧車のように〜」
公開

2018年11月

LOVE KAMATA AWARD
開催

2018年3月

RINREI AWARD 大賞
原作ショート
フィルム「帯」公開
2018年9月

HOPPY HAPPY
AWARD 開催

2018年7月

第5回
ブックショート大賞
募集開始

2018年8月

2014

2015

2016

2017

2018

2015年8月

第2回
ブックショート大賞
募集開始

2016年6月

第2回ブックショート大賞が『ユキの異
常な体質 / または僕はどれほどお金がほしいか』
(『雪女』) / 大前兼生 に決定
SSFF & ASIA 2016にて表彰



第1回ブックショ
ート大賞原作
ショートフィルム
『HANA』を SSFF &
ASIA 2016にて上映



2017年7月

RINREI AWARD 開催

2017年8月

第4回
ブックショート大賞
募集開始

2018年6月

第4回ブックショート大賞が『名前って、
ふたつ以上の鐘の音』入江巽(『ラムネ氏のこと』
坂口安吾『赤と黒』スタンダール) に決定
SSFF & ASIA 2018にて表彰



第3回ブックショート大賞原作ショ
ートフィルム『王様の選択』室市雅則(『裸の王様』)を
SSFF & ASIA 2018にて上映
Earth Act For Life AWARD 大賞原作ショ
ートフィルム『美知の通勤電車』公開





第4回ブックショートアワード大賞原作ショートフィルム『名前って、ふたつ以上の響の音』入江翼(『ラムネ氏のこと』『坂口安吾』『赤と黒』スタンダード)を SSFF & ASIA 2019 にて上映



第5回ブックショートアワード大賞が『シャフリヤールの星と夜』里中徹(『アラビアン・ナイト』)に決定

SSFF & ASIA 2019 にて表彰

2019年6月



第5回ブックショートアワード大賞原作ショートフィルム『シャフリヤールの星と夜』里中徹(『アラビアン・ナイト』)を SSFF & ASIA 2020 にて上映



第6回ブックショートアワード大賞が『どこにもいかにここにいる』森な子(『みにくいアヒルの子』)に決定

SSFF & ASIA 2020 にて表彰

2020年6月



ARUHI アワード受賞作 原作『おたんじょうびおめでとう』公開

2020年9月

MILBON AWARD 開催

2020年12月



2019年7月

学研から短編集「ショートフィルムズ」を出版
SOLARE AWARD 開催



2019年8月

第6回ブックショートアワード募集開始

2019年11月

HOPPY HAPPY AWARD ショートフィルムカテゴリ優秀賞 原作「願いのカクテル」公開

2020年4月

第17回坊っちゃん文学賞(松山市主催) 運営受託 坊っちゃん文学賞

2020年8月

第7回ブックショートアワード募集開始 SOMPO認知症エッセイコンテスト開催

2020年10月

「日本博・日本各地のストーリー創作プロジェクト」スタート。上田岳弘、大前栗生、高野ユタの3名がオリジナル作品を書き下ろし



2019年4月

第16回坊っちゃん文学賞(松山市主催) 運営受託 坊っちゃん文学賞

坊っちゃん文学賞

第18回
坊っちゃん文学賞
(松山市主催)
運営受託

2021年4月



ARUHI + SSFF & ASIA
製作ショートフィルム
『俺の海』公開

2021年6月

「日本博・日本各地の
ストーリー創作プロジェ
クト」作品原作ショ
ートフィルム『おばあ
さんの皮』が公開

2021年6月

第8回
ブックショートアワード
が「日本博・日本各地
のストーリー公募プロ
ジェクト」として募集
開始

2021年8月



MILBON AWARD 大賞
原作ショートフィルム
『エチュード』公開

2022年2月



「日本博・日本各地の
ストーリー創作プロジェ
クト」作品原作ショ
ートフィルム『おかの
羽衣』が公開

2022年3月



第8回ブックショート
アワード大賞が『会
いたい人』春野萌(童謡『赤
とんぼ』)に決定
SSFF & ASIA 2022 にて
表彰

2022年6月

2021

2022

2021年6月

第7回ブックショ
ートアワード大賞が『恋
人がゾンビになってし
まったら』乗金顕斗(『山
月記』)に決定
SSFF & ASIA 2021 にて
表彰



2021年6月

学研からショ
ート集『夢三十夜
あなたの想像力が紡ぐ
物語』を出版



2021年10月

「日本博・日本各地の
ストーリー創作プロジェ
クト」スタート。高橋
久美子、田丸雅智、森
名子の3名がオリジナル
作品を書き下ろし



2022年3月

日本一の星空「長野県
阿智村」の株式会社阿
智神観光局とともに、
阿智村を舞台にした
短編小説を出版するお
土産レーベル「星神温
泉☆星紡文庫」を立ち
上げ
第1弾として「夜に浮
かぶ」(上田岳弘)を
発売開始



2022年4月

第19回
坊っちゃん文学賞
(松山市主催)
運営受託
坊っちゃん文学賞

2022年7月

ARUHI アワード 2022
開催

第9回
ブックショートアワード
が「日本博・日本各地
のストーリー公募プロ
ジェクト」として募集
開始

2022年8月



岐阜県瑞浪市プロモ
ーション動画「奇跡の
化石」公開

2023年2月

坊っちゃん文学賞

第20回
坊っちゃん文学賞
(松山市主催)
運営受託

2023年4月



第9回
ブックショートアワード
大賞が『夕照の道』ウダ
タマキ(『この道』)に
決定
SSFF & ASIA 2023 にて
表彰

2023年6月



BOOK SHORTS 10周年
× プリリアショ
ートシアター オ
ンライン6周年記念 ア
ニバーサリーパーティ
ー開催

2024年2月

坊っちゃん文学賞

第21回
坊っちゃん文学賞
(松山市主催)
運営受託

2024年4月

2022

2023

2024

2022年10月

「日本博・日本各地の
ストーリー創作プロジェ
クト」スタート。柿沼
雅美、乗金顕斗、菅原
敏の3名がオリジナル
作品を書き下ろし



2023年3月

「日本博・日本各地の
ストーリー創作プロジェ
クト」作品原作ショ
ートフィルム『海の見
える街で』が公開



2023年4月

「星神温泉☆星紡文庫」
第2弾として『星空胎
内めぐり』(綿矢りさ)を
発売開始



2023年8月

第10回
ブックショートアワード
募集開始

2024年3月

「星神温泉☆星紡文庫」
第3弾として『最高の
星空記念日』(大前葉生)
を発売開始



2024年6月

第10回
ブックショートアワード
大賞が『鬼の勇氣』比
良慎一(『桃太郎』)に
決定

SSFF & ASIA オンライン
会場でブックショ
ートアワード原作ショ
ートフィルム公開

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2024 概要】

■ 映画祭代表：別所 哲也

■ 開催期間：6月4日（火）オープニングセレモニー 6月17日（月）アワードセレモニー
オンライン会場は4月25日（木）～6月30日（日）

■ 上映会場：表参道ヒルズ スペースオー、ユーロライブ、赤坂インターシティコンファレンス、
二子玉川ライズ スタジオ & ホール、ミカン下北、オンライン会場にて予定 ※開催期間は各会場によって異なります

■ チケット：

● 1プログラム券

<前売り> 一般 1,500円 学生 / シニア（60歳以上） / 障がい者割引 1,200円 小学生未満 無料

<当日> 一般 1,800円 学生 / シニア（60歳以上） / 障がい者割引 1,500円 小学生未満 無料

● 一日券

<前売り> 一般 3,500円 学生 / シニア（60歳以上） / 障がい者割引 2,800円 /小学生未満 無料

<当日> 一般 3,800円 学生 / シニア（60歳以上） / 障がい者割引 3,000円 /小学生未満 無料

● パスポート（期間中、対象の劇場のプログラムを楽しめる

スペシャルパスポート）

<上映会パスポート>

※ミカン下北、BRANDED SHORTS以外の東京会場が対象

一般 7,000円

学生 / シニア（60歳以上） / 障がい者割引 5,500円

<上映会&アワードセレモニーパスポート>

※ミカン下北、BRANDED SHORTS以外の東京会場

およびアワードセレモニー対象

● その他 ミカン下北

<前売り> 1,000円

<当日> 1,200円

● オンライン会場

4/25 - 5/24 日本国内 1000円 国外 5 USD

6/1 -30日本国内 2,500円 国外15USD

■ 一般からのお問い合わせ先：03-5474-8844

■ 公式サイト：

<https://www.shortshorts.org/2024>

■ 主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会



<映画祭ポスタービジュアル>

今年の映画祭テーマ「Illuminate Your Life
～いのち 照らせ セカイ 照らせ」のキーワードから
AI生成されたヴィジュアルを基に本年度のイメージを制作

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの想いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同年に「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、オフィシャルコンペティション（インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org>

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 / E-mail press@shortshorts.org

【本資料に関する画像については、下記よりダウンロードいただけます】

<https://drive.google.com/drive/folders/18iNEWad6yFaFocD-ngAoUZteyvLEroLI?usp=sharing>